

▼今月の『ポピー』の国語で学習するおもな内容と大切なことがらです。

📖の数字は、教科書のページ数です。

2年 きつねの おきゃくさま 📖 71～87

● やせたひよことあひるとうさぎを、一緒に太らせてから食べてやろうとするきつねの物語です。

● よく似た出会いの場面を通して、**きつねの考えの変化**を読み取ります。

- 最初にやせたひよこと出会う場面。
- やせたあひると出会うたひよこ、二人の会話をかげで聞く場面。
- やせたうさぎと出会うたひよこことあひる、三人の会話をかげで聞く場面。
- ひよこ達のために、おかみと戦う場面。

出来事のくり返しの中で、「同じところ」と少し違うところを考えてみよう。



1年 おおきな かぶ 📖 82～91

● 大きなかぶを抜くために、人間と動物が小さな力を一つずつ合わせていくという民話です。

● リズミカルな言葉の繰り返しのおもしろさに気付きます。

うんとこしょ、どっこいしょ。

それでも、かぶはぬけません。

うんとこしょ、どっこいしょ。

まだまだ、まだまだ、ぬけません。

協力することの大切さに気付かせます。



4年 そろそろ 📖 77～95

● **落語**を文章で読み、演じたりして、古典芸能に親しみ、おもしろさを味わいます。

1 さびれた茶店のおじいさんが、店のそばの小さな神社のぼりが落ちているのを拾って届けた。

2 ひどい雨降りになつて、茶店に雨宿りの客が次々に来る。客は出がけにわらじも買っていくが、売り切れたはずのわらじが、天井からぞろぞろ、なくなることなく出てくる。

3 意外な結末とは……。



3年 紙ひこうき、きみへ 📖 71～89

● しまりすのキリリが、みけりすのミークと出会い、変わっていく物語です。

● キリリとミークの人物像をとらえ、ミークとの出会いによるキリリの**気持ちや行動の変化**を読み取ります。

- 1 出会った時から、ずっと仲よしだったみたいな気持ちになったキリリ。
- 2 ミークが「心が重たくなるから、忘れるのは大切なこと」と言うのを聞いて、悲しくなるキリリ。
- 3 時が経ち、ミークが旅立つ時が来た。
- 4 ひとり残されたキリリは……。

最後に、キリリは旅行かばんを手に歩き出すよ。



6年 川とノリオ 📖 69～91

● 川を背景に、父親を兵隊にとられ、母親を原爆で失いながらも、祖父と生きていくノリオの運命を描いた物語です。

● 表現を味わいながら、登場人物の気持ちや場面の様子をとりえ、主題を読み取ります。



川の様子や、人物のどんな気持ちを表しているかを読み取るんじや。

5年 漢文に親しむ 📖 66～69

● 声に出して読み、そのひびきを味わいましょう。

● **漢文**：昔の中国の書き言葉。日本人も昔から工夫して読み、中国の詩や文章に親しんできました。

● 春眠不覚曉

処処聞啼鳥

● 春眠 曉を 覚えす

処処 啼鳥を 聞く

● 故きを温ねて 新しきを知る



熟語の「温故知新」だね。

